



平成30年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年3月14日

上場会社名 ヤーマン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6630 URL http://www.ya-man.com/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山崎 貴三代
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)宮崎 昌也 (TEL) 03-5665-7330
 四半期報告書提出予定日 平成30年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第3四半期の連結業績(平成29年5月1日~平成30年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第3四半期	17,597	18.4	4,583	59.6	4,531	54.8	2,879	55.2
29年4月期第3四半期	14,867	23.4	2,871	287.6	2,927	315.6	1,855	354.1

(注) 包括利益 30年4月期第3四半期 2,884百万円(55.1%) 29年4月期第3四半期 1,859百万円(361.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第3四半期	50.49	—
29年4月期第3四半期	32.53	—

(注) 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第3四半期	16,082	11,358	70.6
29年4月期	13,947	8,884	63.7

(参考) 自己資本 30年4月期第3四半期 11,358百万円 29年4月期 8,884百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	—	18.00	—	54.00	72.00
30年4月期	—	18.00	—		
30年4月期(予想)				1.80	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成30年4月期の連結業績予想(平成29年5月1日~平成30年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,084	10.6	4,577	30.7	4,571	29.4	2,915	28.5	51.12

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無
 2. 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年4月期3Q	58,348,880株	29年4月期	58,348,880株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年4月期3Q	1,320,690株	29年4月期	1,320,690株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年4月期3Q	57,028,190株	29年4月期3Q	57,028,335株
----------	-------------	----------	-------------

(注) 当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該分割が行われたものと仮定して、発行済株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、平成30年3月14日(水)に当社ホームページに掲載いたします。

(株式分割について)

当社は、平成29年11月1日付で普通株式1株につき普通株式10株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び発行済株式数を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成30年1月31日)におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調にあったものの、不安定な国際情勢に対する警戒感などから、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、コスト削減や在庫圧縮などの取組みを通して足元の体質強化に努めながら、海外展開やブランドイメージの向上にも積極的に取り組んでまいりました。

特に店販部門を中心に販売が好調であったことに加え、原価低減や社内体制の整備などの取組みが奏功し、当第3四半期連結累計期間における売上高は17,597百万円(前年同四半期比18.4%増)、経常利益は4,531百万円(前年同四半期比54.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,879百万円(前年同四半期比55.2%増)と前年同四半期を大きく上回る結果となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「海外部門」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しており、前第3四半期連結累計期間の情報は、変更後の区分により作成しております。

① 通販部門

通販部門では、テレビによる通信販売業者を経由した個人顧客への販売、カタログ通販会社向けの販売、インターネット専売業者向けの販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、通販業界全体が振るわなかったことから、ショッピング専門チャンネル向け、地上波通販会社向け、カタログ通販会社向けのいずれも苦戦が続き、売上高は3,026百万円(前年同四半期比17.9%減)、セグメント利益は1,205百万円(前年同四半期比23.0%減)となりました。

② 店販部門

店販部門では、家電量販店、大手百貨店、バラエティショップ等への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、免税店向け卸売事業が好調を維持したことなどにより、売上高は7,687百万円(前年同四半期比62.5%増)、セグメント利益は3,471百万円(前年同四半期比62.5%増)となりました。

③ 直販部門

直販部門では、インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等を用いた個人顧客への販売を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、インフォーマーシャルや各種媒体広告について、売上に対する効果を重視しつつ、一定金額を支出する方針を継続した結果、売上高は4,347百万円(前年同四半期比5.2%減)、セグメント利益は1,671百万円(前年同四半期比38.6%増)となりました。

④ 海外部門

海外部門では、海外の通信販売業者、卸売業者、個人顧客等への販売を行っております。

中国向けの販売が好調を維持したほか、韓国向けの販売を開始したことなどにより、売上高は2,491百万円(対前年同四半期比38.9%増)、セグメント利益は1,022百万円(対前年同四半期比87.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べ2,135百万円増加し、16,082百万円となりました。現金及び預金の増加1,313百万円、商品及び製品の増加715百万円、無形固定資産の増加162百万円、受取手形及び売掛金の減少187百万円が主な要因であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ337百万円減少し、4,724百万円となりました。支払手形及び買掛金の増加341百万円、未払金の減少315百万円、未払法人税等の減少95百万円、長期借入金の減少254百万円が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ2,473百万円増加し、11,358百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上2,879百万円及び剰余金の配当410百万円による利益剰余金の増加2,468百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期以降につきましては、引き続きヤーマンブランドの浸透、直営店の出店、国内外の新たな販路の開拓・拡大といった経営課題に注力し、更なる業績拡大を目指してまいります。

なお、平成29年11月20日に公表した業績予想に変更はありません。

配当につきましては、通期の利益水準を鑑み、検討してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,460,290	9,774,154
受取手形及び売掛金	2,347,827	2,160,749
商品及び製品	1,091,534	1,806,736
仕掛品	32,031	51,420
原材料及び貯蔵品	162,392	195,893
未収入金	747,507	784,922
その他	248,408	243,930
貸倒引当金	△3,651	△17,425
流動資産合計	13,086,340	15,000,381
固定資産		
有形固定資産	400,847	424,770
無形固定資産	292,290	454,660
投資その他の資産	167,554	202,895
固定資産合計	860,692	1,082,325
資産合計	13,947,032	16,082,707
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,241,352	1,582,728
1年内返済予定の長期借入金	484,160	375,862
未払金	1,173,006	857,833
未払法人税等	1,203,989	1,108,405
賞与引当金	33,772	29,005
返品調整引当金	107,677	100,924
その他	206,852	307,311
流動負債合計	4,450,810	4,362,069
固定負債		
長期借入金	609,522	354,850
その他	1,762	7,276
固定負債合計	611,284	362,126
負債合計	5,062,094	4,724,196
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,813,796	1,813,796
資本剰余金	1,313,795	1,313,795
利益剰余金	6,048,236	8,516,869
自己株式	△292,998	△292,998
株主資本合計	8,882,829	11,351,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,166	12,283
為替換算調整勘定	△4,057	△5,235
その他の包括利益累計額合計	2,108	7,048
純資産合計	8,884,938	11,358,511
負債純資産合計	13,947,032	16,082,707

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
売上高	14,867,965	17,597,715
売上原価	5,121,146	6,020,539
売上総利益	9,746,818	11,577,176
返品調整引当金戻入額	115,189	107,677
返品調整引当金繰入額	80,280	100,924
差引売上総利益	9,781,727	11,583,929
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	3,375,930	3,264,088
貸倒引当金繰入額	5,953	14,462
給料及び手当	495,408	565,035
賞与引当金繰入額	17,037	29,005
減価償却費	41,006	46,278
研究開発費	104,112	120,093
その他	2,870,536	2,961,514
販売費及び一般管理費合計	6,909,984	7,000,476
営業利益	2,871,743	4,583,453
営業外収益		
受取利息	868	1,612
受取配当金	227	493
為替差益	69,462	—
その他	8,506	4,798
営業外収益合計	79,064	6,904
営業外費用		
支払利息	13,855	11,016
支払保証料	660	660
為替差損	—	41,994
売上割引	3,960	3,271
その他	5,193	2,087
営業外費用合計	23,670	59,031
経常利益	2,927,137	4,531,326
特別利益		
固定資産売却益	31,921	—
受取和解金	—	48,890
特別利益合計	31,921	48,890
特別損失		
固定資産除却損	16,462	9,923
特別損失合計	16,462	9,923
税金等調整前四半期純利益	2,942,596	4,570,293
法人税等	1,087,272	1,691,057
四半期純利益	1,855,323	2,879,235
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,855,323	2,879,235

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成29年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成30年1月31日)
四半期純利益	1,855,323	2,879,235
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,093	6,117
為替換算調整勘定	1,698	△1,177
その他の包括利益合計	3,791	4,940
四半期包括利益	1,859,115	2,884,176
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,859,115	2,884,176
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、販売チャネルを基礎としたセグメントから構成されており、通販部門、店販部門、直販部門の三部門を報告セグメントとしておりましたが、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「海外部門」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年5月1日 至 平成29年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,688,140	4,730,820	4,583,525	1,793,460	14,795,947	72,018	14,867,965	—	14,867,965
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	12,946	12,946	△12,946	—
計	3,688,140	4,730,820	4,583,525	1,793,460	14,795,947	84,964	14,880,911	△12,946	14,867,965
セグメント利益	1,565,232	2,136,255	1,205,929	546,618	5,454,036	25,982	5,480,018	△2,608,275	2,871,743

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,608,275千円には、セグメント間取引消去31,116千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,639,391千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年5月1日 至 平成30年1月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	通販部門	店販部門	直販部門	海外部門	計				
売上高									
外部顧客への売上高	3,026,590	7,687,244	4,347,059	2,491,817	17,552,712	45,003	17,597,715	—	17,597,715
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	6,641	6,641	△6,641	—
計	3,026,590	7,687,244	4,347,059	2,491,817	17,552,712	51,645	17,604,357	△6,641	17,597,715
セグメント利益	1,205,492	3,471,222	1,671,421	1,022,169	7,370,306	10,556	7,380,863	△2,797,410	4,583,453

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、先端電子部門を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,797,410千円には、セグメント間取引消去31,787千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,829,197千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。